

*** 今日の健康 (8月) ***

<2020年夏のコロナ以外の感染症について>

毎年夏に小児の間で流行する手や足や口などに発疹ができる「手足口病」の患者数が今年は去年の同じ時期の100分の1に減少し、発熱や口の中に水ぶくれができる「ヘルパンギーナ」の患者数はおよそ7分の1、咽頭炎や結膜炎を起こし発熱する「プール熱」とも呼ばれる「咽頭結膜熱」の患者数はおよそ3分の1に減少しています。これらのウイルス感染症が今期、昨年の同時期に比して減少し夏に流行する小児感染症の患者数としてはこの10年で最も少なくなっていることが国立感染症研究所の調査で分かりました。

特に手足口病は、7月13日～19日までの1週間に全国およそ3000の小児科の医療機関から報告された患者数は385人で、昨年の大流行となった同時期には4万人近くだったのに比べておよそ100分の1となりました。

ここ数年、夏に感染が拡大し始めることが多い、かぜのような症状を引き起こすRSウイルス感染症の患者数も、去年のおよそ40分の1になっています。

これらの感染症は新型コロナウイルスと同様に、飛まつや接触を通じて広がるため、消毒や人との接触を避けること、手荒いうがいを徹底することなどの対策による効果が出ていると考えられます。その一方で、小児の発達に必要な人との接触が減っているおそれがあると警告する専門家もあり、小児の発達のために感染対策を十分に行いながら可能な範囲で子ども同士や周囲の人との関わりを持つことも大切です。

全国の感染症報告数 7月13日～19日

1. 感染性胃腸炎-ノロ等	7127 件
2. 溶連菌感染症	2976 件
3. 突発性発疹	1709 件
4. ヘルパンギーナ	1096 件
5. プール熱 (咽頭結膜熱)	560 件
6. 手足口病	385 件
7. 水ぼうそう (水痘)	320 件
8. おたふくかぜ	180 件
9. 流行性角結膜炎	132 件
10. りんご病 (伝染性紅斑)	52 件
11. RSウイルス感染症	52 件
12. マイコプラズマ肺炎	24 件
13. 無菌性髄膜炎	11 件
14. 細菌性髄膜炎	5 件
15. 急性出血性結膜炎	4 件
16. インフルエンザ	3 件
17. ロタウイルス	1 件
18. クラミジア肺炎	1 件

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏